



## 紙つぶて

「自由」であるといつのは束縛がないことです。「風」は何から自由なのでしょう？ それは「地面の影響」からです。大気は薄いベールのように地球を包んでいますが、下のほうは地面の影響を受けやすく、人間活動による排出ガスもたまっていきます。この領域はおよそ千メートルです。それより上は地面の影響から自由で、一般に強い風が吹いています。

富士山は頭を自由な大気に突き出して日本の真ん中に立つ四千メートル級のタワーのようなものです。すぐ近くに工場などの汚染源がなく、山頂で大気汚染物質や黄砂が観測されると、自由な大気を通して強い西風で運ばれて来たと考えることができます。

空気の70%はこの自由な大気の領域にあり、知られていないことがたくさんあります。

## 富士山の自由な風

す。しかし航空機での観測は多大な経費がかかる上に悪天候では飛べません。この点、山岳では連続観測もできません。

千メートル以上の山でも、連山や体積の大きいずんぐりした山はそれなりに地面の影響が残っているので観測に問題があります。ところが、独立峰で千メートル以上がスマートな美しい形をしている富士山頂はほとんどの時間、自由な大気の中にあります。二〇〇三年には産業技術総合研究所の兼保直樹主任研究員がシベリアの森林火災によるススを捕まえました。日本初の観測でした。なぜ富士山が素晴らしい観測地点であるかわか



っていただけでしょうか。山頂には自由な風が吹きわたっているのです。  
(土器屋 由紀子＝富士山測候所を活用する会理事)